

## ●ブックトークシナリオ

- 【テーマ】 フランス発見！  
～東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前学習のために～
- 【対象】 小学校5・6年生
- 【所要時間】 31分

### シナリオの記載方法について

- ・動作は□で囲ってあります。
- ・表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- ・本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- ・本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。
- ・★は現在、新品が品切れなどで購入できません。図書館などでお探してください。

### 【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	「リサとガスパール」と一緒にひとことフランス語	荒川久美子／著	白水社	2019
2	ジス・イズ・パリ ★	ミロスラフ・サセック／著 松浦弥太郎／訳	ブルース・インターアクションズ	2004
3	しらべよう!世界の料理 6 フランス スペイン ギリシャ アメリカほか	青木ゆり子／監修 こどもくらぶ／編・著	ポプラ社	2017
4	ぶどうの国文化館 歴史読本	上野晴朗／著	勝沼町	1995
5	ミレーとコロー	ミレー、コロー／画 森田義之／監修	博雅堂出版	2003
6	星の王子さま	サン＝テグジュペリ／作 内藤濯／訳	岩波書店	2000

### 【シナリオ】

#### ●導入

#### フランス語で「Bonjour」と挨拶し、テーマを紹介する

ボンジュール  
Bonjour。今の言葉は、フランス語の挨拶です。

今日紹介する本のテーマは「フランス発見!」。フランスは、東京 2020 オリンピック・パラリンピックで、県内 14 市町村が事前合宿地やホストタウンになる国です。選手たちをおもてなしする時に役立つ、フランスの言葉や文化が学べる本をご紹介します。

#### 1 『「リサとガスパール」と一緒にひとことフランス語』

##### 表紙を見せる

これは、フランス語を学ぶ時におすすめの本『「リサとガスパール」と一緒にひとことフランス語』です。

##### p.8～9 イラストを見せながら、フランス語と日本語訳を読み、説明する

ページを開くと、左側にフランス生まれの絵本のキャラクター、リサとガスパールのイラストがあります。イラストの上に短いフランス語のフレーズが書いてあります。【Bonjour!】日本語で【こんにちは!】という意味です。右側の説明を読むと【朝から夕方まで使えるあいさつです。

（中略）相手も「Bonjour!」と返してくれることでしょう。」と発音や使い方のアドバイスが書かれています。

#### 子どもに発音を促す

では、皆さんも一緒に言ってみましょう。「Bonjour!」

#### p.10~11 イラストを見せながら、フランス語と日本語訳を読み、説明する

次の言葉は【Je m'appelle Lisa.】【ジュ マベル リザ】日本語で【わたしの名前はリサ。】という意味です。説明を読みます。【自分の名前を伝えるときは、Je m'appelle…のあとに名前を入れます。】

#### 子どもに発音を促す

では、皆さんも一緒に言ってみましょう。「Je m'appelle ○○（名前）」

#### p.26~27 イラストを見せながら、フランス語と日本語訳を読み、説明する

挨拶以外にもいろいろなフレーズが紹介されています。

例えば【Merci!】【メルシー】日本語で【ありがとう!】という意味です。

#### p.50~51 イラストを見せながら、フランス語と日本語訳を読む

これは食事の場面で使える言葉【Bon appétit!】【ボナペティ】日本語で【召し上がれ!】という意味です。説明には【楽しい食事の時間、フランス語ではお料理を出す人も同じ食卓についた人も、「Bon appétit!」といいます。】とあります。

#### p.70~71 イラストを見せながら、フランス語と日本語訳を読む

これは【Bon courage!】【ボン クラージュ】日本語で【がんばって!】という意味です。誰かを励ましたい時に使える言葉です。

#### 表紙を見せる

フランスの選手に街を案内する時や、食事の時、それから応援する時に、皆さんはどんなことを話してみたいですか？『「リサとガスパール」と一緒にひとことフランス語』で楽しく学び、話してみましょ。

## 2 『ジス・イズ・パリ』

#### 表紙を見せる

フランス語の次は、絵本『ジス・イズ・パリ』でフランスの有名な観光名所を見てみましょう。マリー・アントワネット王妃やナポレオン、ジャンヌ・ダルクなど歴史上の有名な人物が関係する場所も登場します。

表紙~p.7 読み聞かせ 『ジス・イズ・パリ』さあ、到着しました。（中略）街には、雄大なセーヌ川が静かに流れ、たくさんの美しい記念碑や教会、博物館が、パリの歴史を育んでいます。】

#### p.11 読み聞かせ

では、パリの街を歩いてみましょう。【長いパンを、杖のように持って歩く老婦人】がいます。

#### p.13 読み聞かせ

これはノートルダム寺院です。【ノートルダム寺院は、1163年に着工され、完成には、200年もの年月がかかりました。（中略）その原形は王冠の飾りです。】

p.15 読み聞かせ 【コンシェルジュリー。世界でも有名な牢獄。（中略）そしてパリでもっとも古い、1330年生まれの時計塔があります。】

p.32 イラストを指さし、読み聞かせ 【オペラ座。世界でもっとも大きな劇場のひとつ。ノートルダム寺院と同じくらいの高さを誇ります。】

p.36~p.37 読み聞かせ 【世界に名高いルーブル美術館。ぜひモナリザを見に行きましょう。これがレオナルド・ダ・ヴィンチが描いた、モナリザです。】

#### p.42 読み聞かせ

これは凱旋門です。【凱旋門は、ナポレオンによって勝利をたたえて建てられましたが、その後、第一次世界大戦で戦死したひとりの無名戦士のためのお墓が門の下にもうけられたことでも知られています。】

p.46~p.47 読み聞かせ 【誰もが知ってるエッフェル塔。高さ約300メートル。（中略）足に自信があったら挑戦してみよう!】

p.48 イラストを指さし、読み聞かせ

【マルトロワ広場に建つジャンヌ・ダルクの銅像。】

p.60 読み聞かせし、裏表紙を見せる  
を見て歩こう！】

【旅はここでおしまいです。さて次はあなたの目でパリ

### 3 『しらべよう!世界の料理 6 フランス スペイン ギリシャ アメリカほか』

絵本『ジス・イズ・パリ』でおばあさんが抱えていたのは、フランス名物の長いパンです。他にどんな食べ物があるのでしょうか？

**表紙を見せる**

この本『しらべよう!世界の料理 6 フランス スペイン ギリシャ アメリカほか』には、2010年ユネスコ無形文化遺産に登録されたフランス料理のことが紹介されています。

p.10 「フランス料理の基本のソース」の項目の写真を見せ、数点説明しながら順に指さし、子どもに手を挙げてもらう。

フランス料理は、宮廷料理から広まりました。その特徴はソースです。いろいろな食材にからめて使います。皆さんが知っているソースもあるはずですよ。今から【フランス料理の基本のソース】を言います。「食べたことがある」とか「知っている」人は手を挙げてください。

【ソース・ピネグレット】【酢と油をかきまぜてつくる】。

【ソース・ベシャメル】【グルタンやクリームコロッケなどに使われる】。【日本ではホワイトソース】と呼ばれています。

【ソース・オランダーズ】【卵とバターのシンプルなソース。ゆでた魚介や、野菜料理につけ合わせる人が多い】。

【ソース・ドゥミグラス】【日本ではデミグラスソースとして知られる】。

p.13 「フランス料理フルコース」の写真を見せ、説明しながら順に指さす

フランス料理と言えば、コース料理です。ある決まった順序で一皿ずつ出す形式の食事です。【フランス料理フルコース】で出される順番を紹介します。最初は【前菜】です。【ホタテ貝のポワレ（蒸し焼き）】など軽めの料理です。次は【キノコのポターージュ】など【スープ】です。それから【シタピラメのムニエル】など魚料理や肉料理の【主菜】。【チーズの盛り合わせ】が出され、最後は【果物やハーブ、フルーツソース】が添えられた【ミルフィーユ】など【デザート】です。

**表紙を見せる**

この他にもフランスにはおいしいパンやチーズ、ワイン、それから各地方によって特徴ある料理があります。もっと知りたい人は、後で調べてみましょう。

### 4 『ぶどうの国文化館 歴史読本』

**表紙を見せる**

私たちが住む山梨とフランスは、実は明治時代から関係がある、と知っていましたか？ヒントは先程触れた「ワイン」です。

p.50 写真を見せ、キャプションの氏名を読む

この二人の青年は、明治10年に山梨からワインの醸造について学ぶため、フランスに留学しました。名前は高野正誠と土屋助次郎です。

p.51 2～12行目を読む

どこで何を学んだか書いてあるので読みます。【まず最初はミルマ氏小学校でフランス語を学び、つぎにデハルトマンオーブ郡のトロワ市の、シャルル・バルテー氏の農園で、ぶどう樹のつくろいや栽培法を学びました。（中略）そして勉学をさらに半年延長してもらい、ビールの製法やシャンパンの製造法を学んで学業を終え、明治十二年（一八七九）三月、マルセイユ港を出航、五月八日無事に横浜港に帰りつきました。】

二人はその後、山梨で本格的なフランス式のワイン醸造を始め、ワイン醸造の会社を作ったり、門下生を育てたり、本を出したりと、山梨のワイン醸造の発展に力を尽くしました。

**表紙を見せる**

フランス留学のことや、山梨のワイン醸造の歴史を知りたい人はこの『ぶどうの国文化館 歴史読本』を見てください。

#### 4 『ミレーとコロー』

フランスと山梨の関係はもう一つあります。ヒントは県立美術館にある絵です。

##### 表紙を見せる

県立美術館にはなんと、フランスの有名な画家、ミレーの絵があります。例えばこの本『ミレーとコロー』の表紙の絵です。絵のタイトルは「落ち穂拾い 夏」です。

##### 図版 14 「種をまく人」(山梨県立美術館)を見せる

この絵のタイトルは「種をまく人」です。まだ見たことがない人は、県立美術館に行ってみましょう。

##### 表紙を見せる

この本『ミレーとコロー』には、ミレーの代表作のことはもちろん、少年の時に家の農作業を手伝いながら大好きな絵を描き、後に農民を描く画家として有名になったミレーの一生について紹介されています。

フランスにはミレーの他にもコロー、セザンヌ、ルノワール、モネなど有名な画家がたくさんいます。いろいろな画家の絵を見て楽しんでください。

#### 5 『星の王子さま』

フランスの有名な子ども向けの物語といえば、『星の王子さま』や『怪盗ルパン』、ベルヌが書いた科学冒険小説『海底二万海里』、それから「眠りの森の美女」「長靴をはいた猫」を収めた「ペロー昔話集」があります。この中から皆さんが大人になる前にぜひ読んで欲しい一冊を紹介します。

##### 表紙を見せる

『星の王子さま』です。フランス生まれの作家で、飛行機のパイロットでもあったサン=テグジュペリが書いた物語です。

物語に最初に登場するのは、サン=テグジュペリと同じパイロットの「ぼく」です。ぼくはある日、飛行機が故障し、サハラ砂漠に不時着しました。

##### p.13 イラストを見せる

そこで出会ったのが違う星からやって来た王子さまです。王子さまはどんな星に住んでいるのでしょうか？そして、なぜ地球にやってきたのでしょうか？王子さまはその答えをぼくに教えてくれました。

##### p.25 イラストを見せる

王子さまは家と同じくらいのサイズの小さな星に住んでいます。

##### p.50 イラストを見せる

ある日、王子さまの星に見たこともない芽が生え、美しい花が咲きました。どんな花かわかる場面を読んでみます。

p.51 11行目～p.52 2行目まで読みながら、水やりのイラストを指さす 【王子さまは、どぎまぎしましたが、汲みたての水のはいったジョロをとりについて、花に、朝の食事をさせてやりました。(中略)それで、王子さまはたいへんこまりました。】

p.53 1行目～7行目まで読みながら、衝立のイラスト、次に覆いガラスのイラストを指さす

【「あたくし、トラなんか、ちっともこわくないんですけど、風の吹いてくるのが、こわいわ。(中略)「夕方になったら、覆いガラスをかけてくださいね。ここ、とても寒いわ。星のあり場がわるいんですわね。だけど、あたくしのもといた国では…」】

王子さまは、美しい花がわがままばかり言うので、自分の星を逃げ出し、別の星に行きました。

##### p.62 イラストを見せる

一番目の星には、王様が一人で住んでいました。家来も国民も誰もいません。王子さまが来ると王様は家来ができた喜び、あれこれ命令します。王子さまは次の星に向かいました。

##### p.71 イラストを見せる

二番目の星には、うぬぼれ男が一人で住んでいました。

##### p.74 イラストを見せる

三番目の星にはお酒を飲む「呑み助」が

##### p.77 イラストを見せる

四番目の星には自分が持っている5億個以上の星の数を忙しそうに数える「実業屋」が住んでいました。

### **p.86 イラストを見せる**

五番目の小さな星には点燈夫が住んでいて、街燈の明かりを1分ごとに点けたり消したりしています。

### **p.91 イラストを見せる**

六番目の大きな星には地理学者が住んでいました。

### **p.117 イラストを見せる**

七番目の星が地球です。砂漠に降りた王子さまはへびに会いました。それから、あの美しい花とそっくりの花がたくさん咲いているのを見つけ、泣きました。そこにキツネが現れました。王子さまと友達になったキツネは、別れる時が近づくとこう言いました。

**p.125 12行目～p.126 1行目を読む** 【「もう一度、バラの花を見にいってごらんよ。(中略)それから、あんたがおれにさよならをいいに、もう一度、ここにもどってきたら、おれはおみやげに、ひとつ、秘密をおくりものにするよ】

さて、キツネがプレゼントした秘密とは何でしょう？ヒントはこの『星の王子さま』の中で有名な言葉です。読みます。

**p.127 8行目～11行目を読む** 【「じゃ、さよなら」と王子さまはいいました。「さよなら」と、キツネがいいました。「さっきの秘密をいおうかね。なに、なんでもないことだよ。心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目には見えないんだよ】

### **表紙を見せる**

さて、王子さまはその後、自分の星に帰り、美しい花ともう一度会ったのでしょうか？続きを知りたい人は『星の王子さま』を読んでみましょう。

## ●まとめ

### **紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う**

今日は、「フランス発見！」というテーマで本を紹介しました。

フランス語の挨拶や会話を学ぶことができる本『リサとガスパール』と一緒にひとことフランス語』、エッフェル塔や凱旋門など観光名所や歴史的に有名な建物を紹介した絵本『ジス・イズ・パリ』、フランス料理の特徴を紹介した『しらべよう！世界の料理 6 フランス スペイン ギリシャ アメリカほか』、山梨とフランスの意外なつながりがわかる『ぶどうの国文化館 歴史読本』と『ミレーとコロー』、最後に地球にやってきた王子さまの物語『星の王子さま』です。

今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでください。

【その他の本】こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

### ○フランス語を学ぶための本

- ・『旅することのフランス語 パリ編』 コンテックス情報研究所／編著 成美堂出版 2019年
- ・『世界の文字と言葉入門 10 フランス・イタリアの文字と言葉』 小峰書店 2005年
- ・『10か国語でニッポン紹介』 全5巻 パトリック・ハーラン／英語指導 こどもくらぶ／編 岩崎書店 2017年

### ○フランスの観光名所や歴史がわかる本

- ・『写真で学ぶ世界遺産 1 ヨーロッパ』 平川陽一／編著 汐文社 2014年
- ・『総合学習に役立つみんなの世界遺産 5 西ヨーロッパ・北ヨーロッパ』 岩崎書店 2000年 ★
- ・『マリー・アントワネット物語 上・中・下』 藤本ひとみ／作 講談社 2010年
- ・『ジャンヌ・ダルク伝』 ジョゼフィーヌ・プール／文 アンジェラ・バレット／絵 片岡しのぶ／訳 あすなろ書房 2004年 ★
- ・『ジャンヌ・ダルク』 M・プーテ・ド・モンヴェル／さく やがわすみこ／やく ほるぷ出版 1978年 ★

### ○フランスの子どもたちの暮らしを知る本

- ・『世界のともだち 10 フランス』 偕成社 2014年

- ・『ヨーロッパの小学生 6 フランスの小学生』 多田孝志／監修 学研教育出版 2012年 ★
- ・『体験取材!世界の国ぐに 25 フランス』 ポプラ社 2008年
- ・『世界の中学生 3 フランスの中学生』 学研 2003年 ★
- ・『世界の子どもたちはいま 2 フランスの子どもたち』 学研 2000年 ★

### ○フランス料理の本

- ・『世界遺産になった食文化 1 暮らしを豊かにするフランス料理』 服部津貴子／監修  
こどもくらぶ／編 WAVE出版 2013年 ★
- ・『フランスのごはん』 銀城康子／文 マルタン・フェノ／絵 農山漁村文化協会 2006年
- ・『世界の料理いただきます。ドイツ・フランス』 尾崎曜子／編・絵 アリス館 2001年 ★
- ・『リサとガスパールのクッキングブック』 アン・グットマン／ぶん  
ゲオルグ・ハレンスレーベン／え 山本 ゆりこ／やく・レシピかんしゅう プロンズ新社  
2010年 ★
- ・『どんな国?どんな味?世界のお菓子 4 ヨーロッパのお菓子』  
服部幸應、服部津貴子／監修・著 岩崎書店 2005年 ★

### ○山梨のブドウ栽培やワイン醸造の歴史を知る本

- ・『やまなしはじめて物語ガイドブック』 山梨県立博物館／編 山梨県立博物館 2006年
- ・『葡萄と葡萄酒(ワイン) 企画展』 山梨県立博物館／編集 山梨県立博物館 2016年
- ・『写真で見るふるさと勝沼』 勝沼町文化協会／編集 勝沼町 1998年
- ・『ブドウの絵本』 たかはししくにあき／へん さわたとしき／え 農山漁村文化協会 2002年

### ○画家ミレーの作品や伝記、フランスの画家や絵画についての本

- ・『もっと知りたいミレー 生涯と作品』 安井裕雄／著 高橋明也／監修 東京美術 2014年
- ・『ポール・セザンヌ』 スージー・ブルックス／著 六耀社 2016年
- ・『ルノワール、みつけた』 DADA日本版編集部／編著 今井敬子／訳 朝日学生新聞社  
2011年
- ・『モネ色いろ』 DADA日本版編集部／編著 今井敬子／訳 朝日学生新聞社 2011年

### ○フランスの有名な子ども向けの物語

- ・『怪盗ルパン』 モーリス・ルブラン／作 榊原晃三／訳 岩波書店 2000年 ★
- ・『海底二万海里 上・下』 J.ベルヌ／作 清水正和／訳 A.ド・ヌヴィル／画 福音館書店  
2005年
- ・『地底旅行』 ジュール・ヴェルヌ／作 平岡敦／訳 岩波書店 2018年
- ・『眠れる森の美女 ペロー昔話集』 シャルル=ペロー／作 巖谷国土／訳 東逸子／絵 講談社  
1998年 ★
- ・『ブーツをはいたネコ』 シャルル・ペロー／作 フレッド・マルチェリーノ／え  
おぐらあゆみ／やく 評論社 1994年

山梨県立図書館 2020.8